

令和4年度 第2回大和市社会福祉審議会（書面開催）会議要旨

- 意見提出期間：令和4年11月18日（金）から令和4年12月5日（月）まで
- 場所：書面開催
- 参加状況：以下のとおり

[意見を提出した委員] 15名

国兼委員、町田委員、石井委員、村上委員、加藤委員、臼井委員、小野委員、北林委員、村井委員、大出委員、和田委員、熊井委員、垣見委員、遠藤委員、二見委員

[事務局]

健康福祉総務課

[傍聴者]

書面開催のため傍聴なし

【議題】

1. 令和4年度指定管理者評価委員会の報告について <資料1>
2. 次期大和市地域福祉計画の策定について <資料2>
3. 次期地域福祉計画策定に向けたアンケート等実施概要について <資料3>
4. 次期地域福祉計画策定に向けたアンケート（案）について
 - ①市民向けアンケート <資料4-1>
 - ②自治会向けアンケート <資料4-2>
 - ③民生委員・児童委員アンケート <資料4-3>
 - ④地区社会福祉協議会向けアンケート <資料4-4>
 - ⑤社会福祉法人向けアンケート <資料4-5>
 - ⑥当事者向けヒアリング <資料4-6>
 - ⑦専門職向けヒアリング <資料4-7>

***** 以下、要旨記録 *****

1. 令和4年度指定管理者評価委員会の報告について

- 委員) 松風園について、家族以外の人との交流等により社会性を身に付ける大切な場であると感じた。臨床発達心理士等人材の確保に苦勞されているのではないかと。長く大和市の障がい児者福祉に力添えをいただきたい。また、コロナ禍で就労支援 B 型事業所はどこも運営が大変だったと思う。特にカフェ事業は減収に加え電力等の高騰も痛手であり事業継続について行政の支援を望む。
- 委員) 大和しらかし会、すずらんの会の 2 法人はコロナ禍の難しい状況で本当によく努力されていると思う。指定期間 5 年について、今後延長する検討が必要で

ある。

- 委員) まごころ地域福祉センターについて、ホームページに決算等の報告書類が掲載されているが、評価書に記載されていた内容が当該報告書類にも数字で表記されると前年比や増収等もわかりやすい。
- 委員) 新型コロナウイルス感染症の影響下で各法人とも創意工夫しながら事業を展開していることは高く評価できる。また、健全な事業継続のため安定した財政状況に努めており高く評価したい。
- 委員) いずれの施設もコロナ禍で苦戦を強いられる中、利用者がいきいきと生きる活力を失わないような工夫がなされていることを評価できている。

委員) 評価書に脱字、収支決算概要に計算誤りが見受けられた。
事務局) 事業所管課に伝え、速やかに対応する。

2. 次期大和市地域福祉計画の策定について

- 委員) 通いの場は社会とのつながりを持つ場であり、就労が難しい方にとっても大切なコミュニケーションの場である。今後も身近な居場所が必要であり、周囲の理解も得られるような交流機会の創出を望む。
- 委員) 第6期の地域福祉計画もより多くのご意見を反映し策定していただきたい。
- 委員) 重層的支援体制整備事業に向けた調整に早く取り組むべきである。今回の計画策定の機会を逃すとさらに5年遅れてしまう。
- 委員) 小地域の福祉課題を抽出し、地区単位の福祉計画なども検討すべきかもしれない。また、重層的支援体制整備事業など地域共生社会づくりにどのようにつなげていくのか。国から発出されている「地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進について」の内容を盛り込む必要がある。
- 事務局) 地域福祉計画は、これまでの地域福祉に関連する取り組みを基にしながら、地域共生社会を実現するための計画として策定する必要があると認識している。計画策定にあたっては、今回のアンケート結果や国通知類、委員からのご意見等を踏まえながら進めていきたい。

3. 次期地域福祉計画策定に向けたアンケート等実施概要について

- 委員) 相談支援を行う方の環境についてもアンケートを行ってはいかがか。また、協議体の船員についてもアンケートの対象としてはいかがか。
- 委員) サンプル数として適切と考える。
- 委員) 生活課題の状況把握のため次を調査対象としてはいかがか。
・NPOで福祉事業の運営団体

- ・当事者として若年性認知症、在宅独居高齢者
- ・障がい者や高齢者等在宅介護者家族
- ・訪問介護員等在宅サービス支援者

事務局) 今回の計画策定にあたっては、お示しした対象者に調査を行っていききたい。
 いただいたご意見は、次回の計画策定の際の参考にさせていただきたい。

4. 次期地域福祉計画策定に向けたアンケート（案）について

① 市民向けアンケート

委員) 他のアンケートについても同様だが、QR コードを付けるなどして、Web で回答できるようにすると集計面やコスト面でメリットがあると思う。

事務局) 今回のアンケートについては、紙媒体で実施したい。いただいたご意見は、次回の計画策定の際の参考にさせていただきたい。

委員) コロナ感染症の影響を設問や選択肢に反映していただきたい。

事務局) ご意見のとおり、選択肢に反映させたい。

委員) 回答についてのお願いについて、「回答が困難な場合は次の設問に進んでいただいても構いません。」とあるが、「回答できる設問だけでも構いません。」のような表現にしたほうが、回答しやすいのではないかと。

事務局) ご意見を参考に表現について検討したい。

委員) 他のアンケートについても同様だが、アンケートの設計思想がほしいところである。計画の体系と設問内容の対応表などは作成しているか。

事務局) 新計画の体系は現段階では決まっていないため、対応表等は作成していないが、現行計画の体系にそった対応表を作成し、アンケート結果が新計画の体系につながるよう進めていきたい。

委員) アンケートをより有効なものにするために、大和市地域福祉計画はどのような理念や目標を持って臨んでいるか示す必要がある。このことは、市民向け以外の他のアンケートについても同様と考える。

事務局) ご意見のとおり、地域福祉の概念や地域福祉計画の目指す理念等について追記する。

委員) 次の設問について、⇒以降を選択肢に加えてはどうか。

- ・困った時の相談先⇒子育て支援センター・保育所育児相談
- ・暮らし向きの苦しい方への支援⇒子育てに関する情報提供・相談支援

- ・世帯の中にいる支援が必要な人⇒学齢期の子ども
- ・再犯防止の支援策⇒自己肯定感を得られるような講習・講座

事務局) ご意見を参考に選択肢について検討したい。

② 自治会向けアンケート

委員) 行政が自治会支援を行うための実態把握として、設問に「連携を困難としている課題は」「地域福祉を推進する上で自治会ができることとは」を加えてはいかがか。

事務局) ご意見を参考に設問について検討したい。

委員) 次の設問について、⇒以降を選択肢に加えてはいかがか。

- ・今後の活動において工夫する点⇒地域の状態や地域活動の意義の広報

事務局) ご意見を参考に選択肢について検討したい。

③ 民生委員・児童委員アンケート

委員) 行政が民生委員・児童委員支援を行うための実態把握として、設問に「民生委員が連携を望む相手なのに、連携が困難な理由」を加えてはいかがか。

事務局) ご意見を参考に設問について検討したい。

④ 地区社会福祉協議会向けアンケート

特に意見なし。

⑤ 社会福祉法人向けアンケート

委員) 次の設問について、⇒以降を選択肢に加えてはいかがか。

- ・地域交流を通じて得る成果⇒地域のニーズを把握することで法人の役割を認識できる。

事務局) ご意見を参考に選択肢について検討したい。

⑥ 当事者向けヒアリング

委員) 設問1中の「暮らせるとよい」を「暮らしたい」に文言修正してはいかがか。

また、設問3と設問4の順番を入れ替えてはいかがか。

事務局) ご意見のとおり文言の修正と設問の順番を入れ替えたい。

⑦ 専門職向けヒアリング

委員) 専門職の方のやりがいやスキルアップの際の支援についてヒアリング項目

にいれてはいかがか。

事務局) 今回の専門職向けヒアリングの目的は、生活状況や生活課題の最近の傾向、多機関協働の状況等の把握、成年後見制度利用促進に関する意見の集約であり、目的にそった項目で実施をしていきたい。

委員) ヒアリング対象の専門職に、その方の業務経験年数（前職が同じ職種である場合にはその年数も加えたもの）を聞いていただきたい。

事務局) ご意見のとおりヒアリング項目に加えたい。